

地域に活力と結束力を与える効果、地域行事

上美生地域では、ほぼ1年を通して地域みんなが参加する行事が行われます。

地域行事で最も早いのは運動会。農作物の植付け作業も一段落した6月初旬、地域合同運動会が上美生中学校グラウンドで開催されます。保育所・小学校・中学校に通う子どもたちが行う運動会に併せて、保護者をはじめ多くの地域住民も競技に参加し、みんなで運動会を楽しみます。

そして、小麦の収穫作業も終わった8月中旬、上美生地域の夜空には太鼓の音が響き渡ります。この時期、地域では納涼盆踊り大会が開催され、さまざまな衣装を着た地域団体が数多く参加し、去り行く夏の夜のひとときを楽しみます。

秋の実りの収穫を終えた11月下旬には、1年の豊穡に感謝して収穫感謝祭が催されます。

幼児からお年寄りまで、多くの人たちが芸能発表に参加し、外では農産物の直売が行われるなど、会場は1日中多くの人でにぎわいます。

地域イベントは、住民参画型の地域社会をつくるために大きな効果を与えます。それは、地域に活力を与え、地域の結束力を高めてくれるからです。

「たらんぼの会」でも、町外からの移住者を選考するために「地域のイベントに参加する意思があるかどうか」を、基準の1つとしているほどです。それだけ、多くの人々が地域イベントに参加することが、地域の結束力や地域への愛着を生み、さらに魅力的な地域をつくり出す力になるということを上美生地域の人たちは感じているのです。

そんなイベントを地域みんなで楽しもうという風潮が、上美生地域にはずっと根付いており、この風潮が地域を元気付けているといえます。



地域の人々が助け合うことにより組織の強化を

そんな地域の結束力は、さまざまな分野で生かされています。

先日、上美生共同墓地運営委員会(梶澤辰之助会長)では、役員5人が出役し手押し式ポンプの設置工事を行いました。

上美生共同墓地にはもともと水道設備がなかったため、ポリタンクを設置して利用していました。しかし、タンク内の水が長期間放置されるために藻が発生するなど、衛生的な問題もありました。そこで、役員の中に井戸掘削の経験者がいたことから、経費をあまりかけないで、業者などに依頼せず自分たちの手で作業を行うことを決めたのです。

梶澤会長は、「私たちが元気でいられるのは、ご先祖さまが見守ってくれているおかげなので、せめてお墓にはきれいな水を上げたいと思っていました。また、昔懐かしい手押しポンプを設置したのは、お参りに来た子どもたちがポンプに触れ、水のありがたさを理解してもらいたいと考えたからです。さらに、これまでペットボトルなどのごみ問題にも悩まされていましたが、これらの問題が解消されることも期待しています」と話します。

資材費を含めた設置費用の2分の1は、町の「協働のまちづくり活動補助」で助成していますが、計画から実施まですべてを地域住民が行いました。地域に必要なことを最も身近な地域住民が話し合い、問題を解決した事例です。

地域の課題や問題を住民同士で話し合い、地域にあったやり方で課題などを解決していくことは、今後ますます重要となります。すべてを行政などに任せるのではなく、自分たちで行えることと行えないことは何かを話し合い、可能なことは積極的に取り組むことがそれぞれの経験につながり、自立した地域へと成長していくのです。今後、このような取り組みや活動が、さまざまな地域で増えていくことが期待されています。



小さな組織から大きな組織へ…

しかし、地域の問題を見出し、地域で解決することは難しいことです。その原因の1つに、地域組織が確立されていないことが挙げられています。それは、上美生地域でも同様です。

現在、上美生地域には町内会や行政区以外に大きく6つの組織が構成されていて、それぞれが独自の活動を活発に行っています。また、このほかにも前述のような小さな組織などが積極的に活動を行っています。しかし、同じ人が複数の組織を担っていたり、いずれの組織にも携わらない人がいたりするなどの課題も出ています。

上美生地域の各組織は、それぞれがしっかりとした活動をしていることから、これらの小さな組織を1つにまとめ、地域の問題などを横断的に話し合っただけで実行できる大きな組織を設立し、他の地域のモデルになることが期待されています。

現在、町でもこの組織と同様の機能を持つ「めむろ自治組織」の設立へ向けて、芽室町市街地町内会連合会へモデル地区の選定を打診し、同会で検討を始めていただいています。



上美生地域には、素晴らしい風土・人・地域環境がたくさんあります。その結果、この地域はとても元気にあふれています。

自然環境が作り出した上美生地域の社会機能。多くの移住者が魅せられた日高山脈を目の前に望む大自然。上美生の人たちの気質が成し得た地域住民と移住者との融合。さらに、上美生地域の人たちを固く結び付ける地域行事など、これらがうまく作用して地域組織が機能し、この地域の自立が生まれているといえます。

しかしながら、元気にあふれる要素は上美生地域だけではなく、芽室町内どの地域にも存在しているのです。実際、ほかの地域においても、さまざまな行事を行ったり、自らの地域をより良いものにするためさまざまな活動を行ったりしています。

本町は、自主・自立の道を歩み始めています。そして、町民が主役になるまちづくりへと大きく変革しようとしています。

魅力ある芽室町を次の世代へ引き継ぐために、このまちの風土・人・地域環境を改めて見つめ直してみることが、都市と農村が一体となった自立のまちづくりへとつながるのです。



地域 ちいき

地域の結束力が
地域の自立を生む